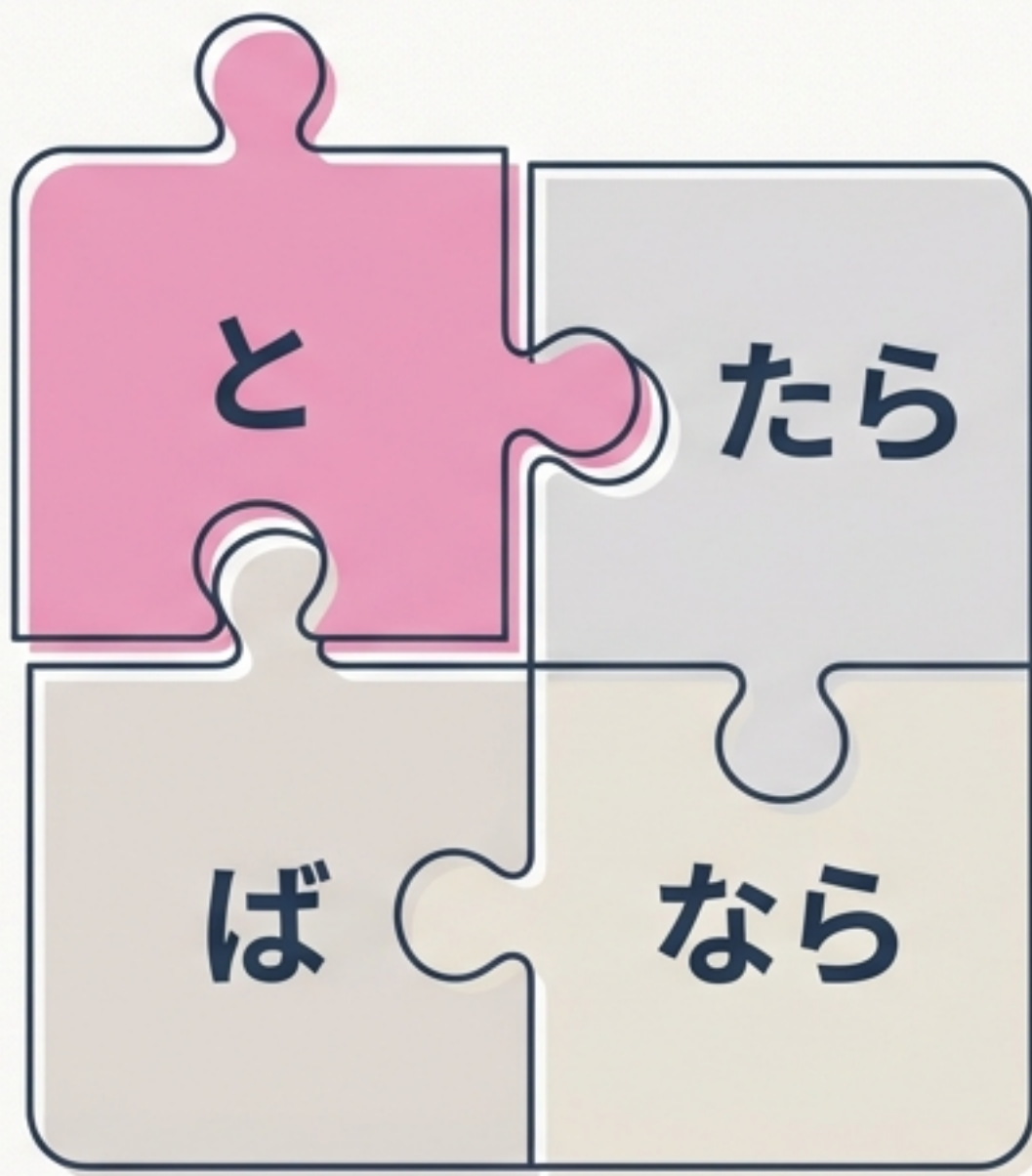


日本語の条件形「と・たら・ば・なら」完全攻略

まずは「と」をマスターしよう



なぜ、日本語の条件形は難しいのか？

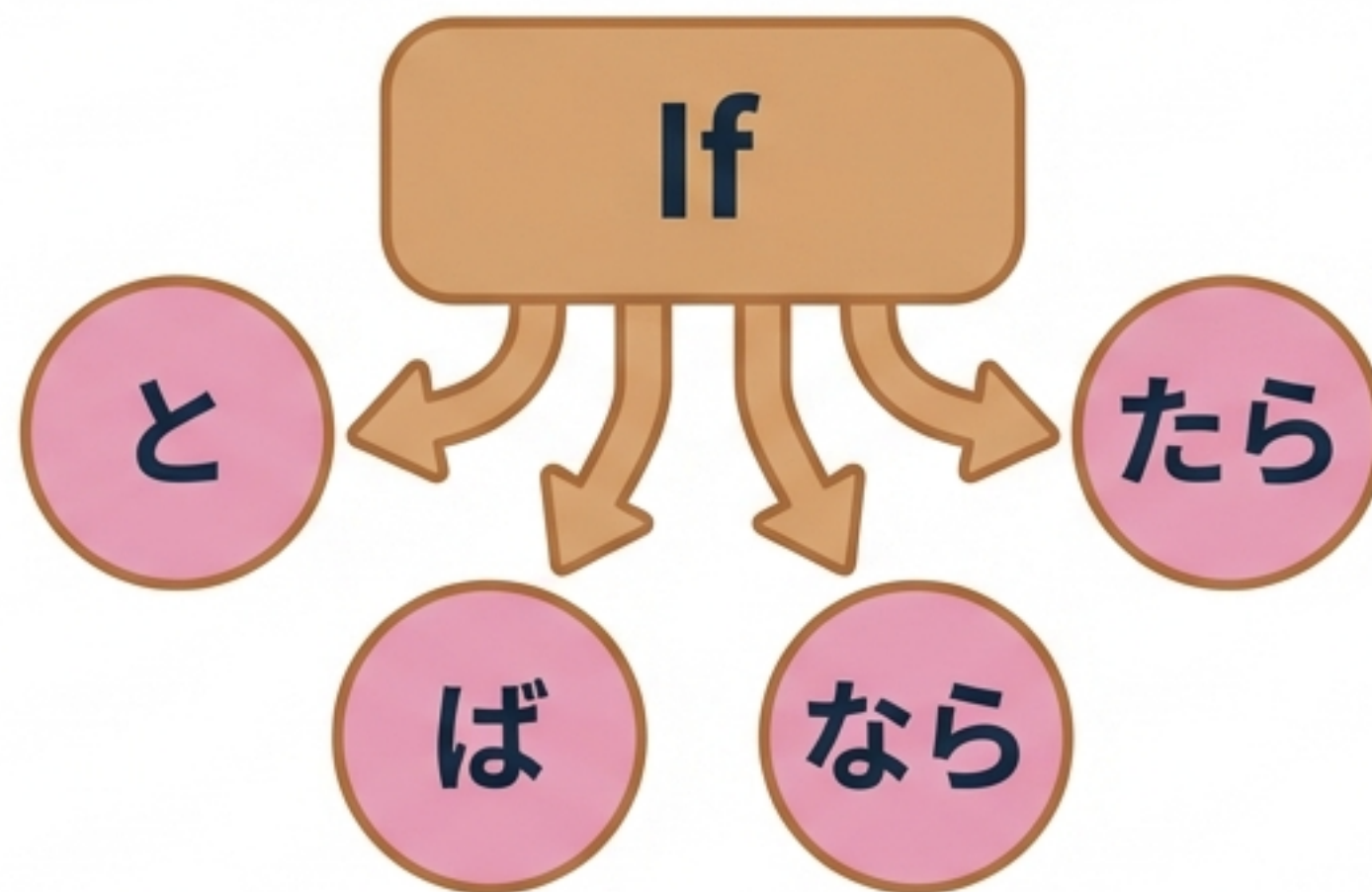
英語 (English)



If

英語では "If" ひとつで全部通じる。

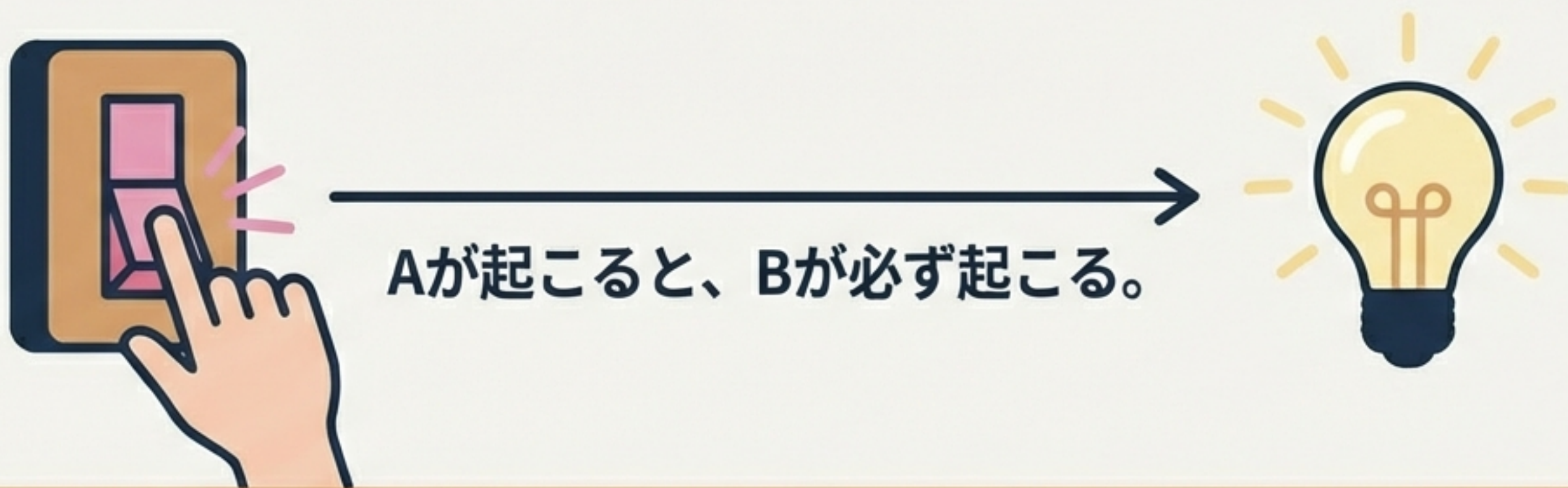
日本語 (Japanese)



日本語は文脈によって使い分けが必要。

今日は、その中で最も「必然性」が強い「と」に焦点を当てます。

「と」の本質は「必然」



- ✓ 「と」は単なる仮定（もし～なら）ではありません。
- ✓ AとBがセットで起こる、確定的な関係を表します。
- ✓ 自然現象、機械の操作、習慣など「当然の結果」に使います。

「と」の作り方

動詞 (Verb)

[辞書形] + と

行く + と = 行くと

ない形 (Nai Form)

[ない形] + と

押さない + と = 押さないと

い形容詞 (i-Adj)

[い形] + と

安い + と = 安いと

な形容詞 / 名詞

[だ] + と

静かだ + と = 静かだと

※ 前件（「と」の前）は必ず「非過去形（現在形）」です。

シチュエーション①：自然の法則



春になると、桜が咲く。

- ✓ 人間の意志ではコントロールできないこと。
- ✓ A（春になる）が起きれば、自然にB（花が咲く）が起きます。

シチュエーション②：機械の操作



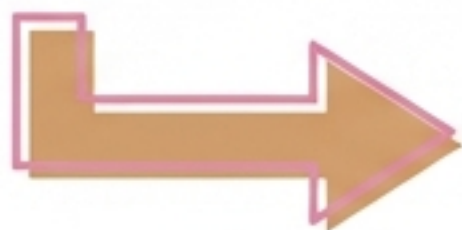
このボタンを押すと、
切符が出ます。

- 原因と結果がはっきりしている関係。
- 「いつも必ずそうなる」という事実を伝えます。

シチュエーション③：習慣・反復



Step 1



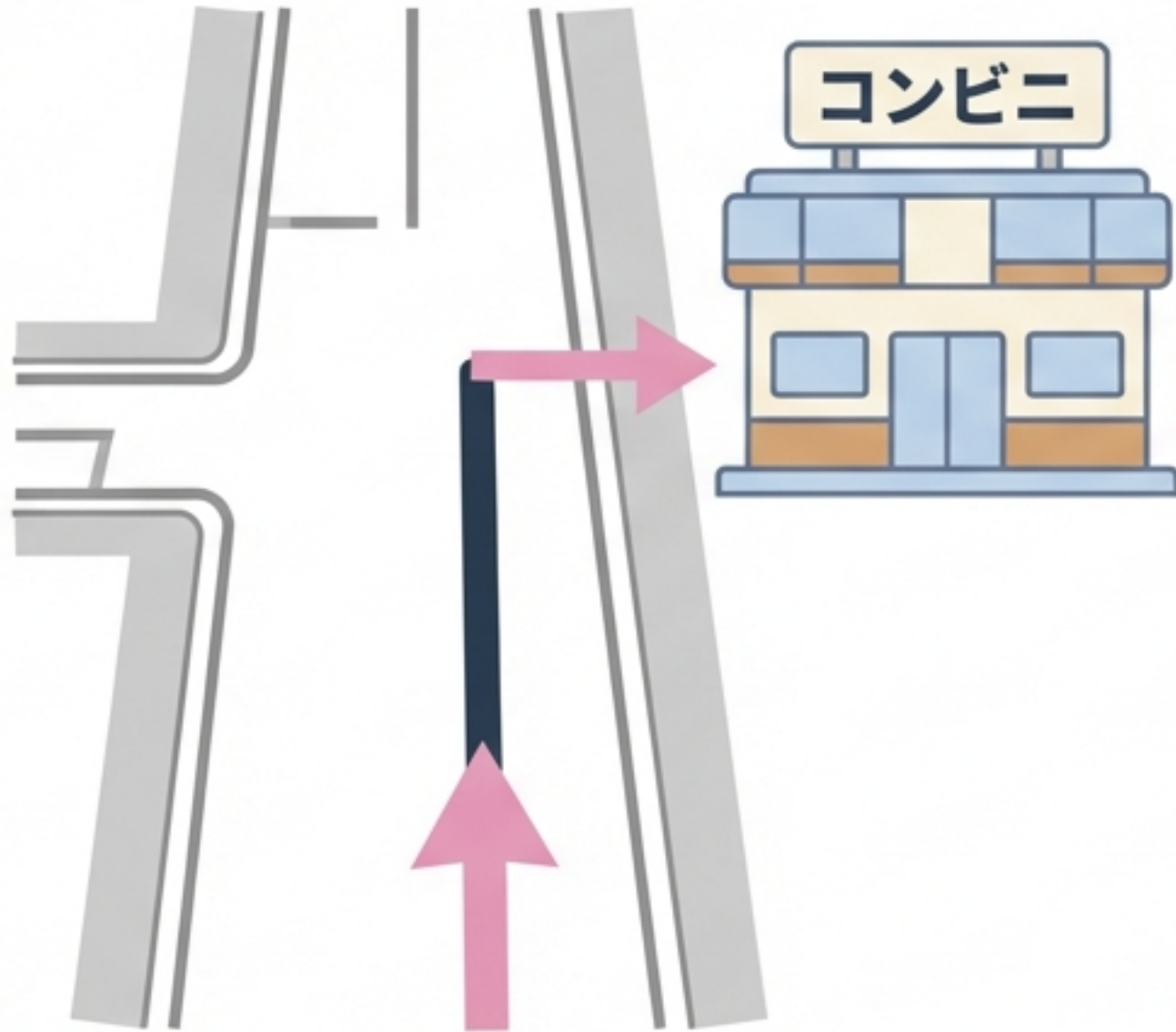
Step 2

朝起きると、 水を飲みます。

- ✓ 個人の習慣的な動作にも使えます。
- ✓ 「起きる」→「水を飲む」がセットになっています。

シチュエーション④：道案内

まっすぐ行くと、右に
コンビニがあります。



- その道をたどれば、必ずそこにたどり着きます。
- 客観的な事実を伝えるのに適しています。

特殊な用法：発見・驚き



窓を開けると、雪が降っていた。

Grammar Note

Noto Sans JP

- 後件（文の後半）が「～た形（過去形）」になります。
- 「～したら、～だと気づいた」という発見のニュアンスです。

例：家に帰ると、猫がいなかった。

【重要】「と」の絶対ルール

文の最後に「意志・希望・命令」は使えません！



Bad Example

春になると、日本へ行きたいです。

「行きたい」は人の気持ち（意志）なのでNG。



Good Example

春になったら、日本へ行きたいです。

「と」は「自動的に起こる結果」に使うため、コントロールできる「意志」とは相性が悪いです。

迷ったらこれ！万能な「～たら」

万能



時間的・個別 (Temporal / Specific)

- 意味：「～した後で」 (When / After)
- 意志、希望、命令、誘いなど、何でもOK！

例：駅に着いたら、電話して。

※ 会話では「たら」が一番使いやすいです。

条件を強調する「～ば」



必要条件 (Necessary Condition)

- 意味：「もし～なら」（仮定）
- 「Aという条件があれば、Bできる」

例：安ければ、買います。

※ 買うための条件は「安いこと」です。

文脈とアドバイスの「～なら」

A: 「東京へ行きます。」

B: 「東京へ行くなら、新幹線が便利です。」



トピック・提案 (Topic / Suggestion)

- 相手の話を受けてアドバイスするときに使います。
- 意味：「それなら...」 (In that case...)

A: 「東京へ行きます。」

B: 「東京へ行くなら、新幹線が便利です。」

使い分けまとめ

特徴 Feature	と To	たら Tara	ば Ba	なら Nara
自然・機械 Natural/Machine	◎	○	○	△
習慣・事実 Habit/Fact	○	○	△	△
意志・依頼 Will/Request	×	○	△	○
仮定・もし Hypothetical	△	○	○	○
アドバイス Advice	×	△	△	◎

今日のゴール

1. 自動的な結果

「と」を使う

(自然、機械、発見)

2. それ以外 (意志・お願い)

「たら」を使う

(迷ったら「たら」でOK!)

焦らず、少しずつ使い分けていきましょう！